

## 企画提案書

団体名： 犬の会

部門： 課題テーマ部門 ○自由テーマ部門

(該当するものに○)

### 1. 企画案のタイトル

警察犬と考えよう！犬のトラブル解決法

### 2. 事業方針（市民ニーズの有無及び協働で取り組む意義を踏まえること）

少子化、高齢化、単身世帯の増加に伴うように、その数を増加させ続けているペットの犬たちは、兄弟あるいは子供のように飼い主の心を癒し慰め、また人間関係のコミュニケーションツールともなって、ますます家族の一員としての地位をゆるぎないものとしています。

その一方でペットの犬に関して静岡県へ寄せられる市民からの様々なクレームへの対策、30年以内に80%以上の確率で発生が予想される東海地震へのペット対策などの問題が山積している。行政の枠組みだけでは手の届かない、飼い主自身による地道な準備や対策が求められています。

そこで同じ飼い主としてまた同じ一市民として、受講者の方々と共に問題を解決しそして準備していこうという取り組みです。

### 3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

○ 当団体の役割

<講習会の実施>

配布資料の作成および印刷、パワーポイント制作、ビデオ制作と編集、記録

アンケート作成、広報活動（チラシ作成と配布）、モデル犬の準備、

○ 行政にのぞむこと

講習会場の提供、 情報の提供（配布資料作成のため） 広報の協力（市広報紙への掲載等）

### 4. 成果目標（できる限り具体的に表現すること）

○ 犬のことで迷惑をしている市民がいることと、その理由を知っていただく。

○ 上記に対し飼い主にできる対策を提示し実行に結びつける。

○ 緊急時に備えるハード（物質的な面）とソフト（しつけ管理方法など）を提案し、その必要性を理解していただく。

○ 以上のことを理解納得し地道に続けていけば、犬も飼い主も周囲の人々もトラブルやストレスが減り、かつ社会に貢献できる可能性もあることを知っていただく。

## 5. 事業計画

高齢者のみの世帯、独身者などの新しい形の飼い主も増えてきて空前のペットブームとなり、家の中で家族として飼う、癒しを与えてくれる存在等、犬を取り巻く環境は大きく変化している。その中で犬を飼っていることで起こってくる様々な問題、たとえば、しつけの問題、飼い主のマナーの問題、犬のストレス、緊急時に犬たちが遭遇する問題等がこれまで以上に飼い主だけでなく、犬を飼っていない周りの人達を悩ましている。

そこで3回の講習会を実施して、現在起こっている問題を提示し、犬の本能、生態を知ることから、それらの問題の解決を図り、犬たちと飼い主、周囲の人々とのよりよい生活、犬のいる生活の楽しみ方を提案する。

実施に当たり、市に寄せられている苦情、市が取り組んでいる問題点を問い合わせ、解決、対策に取り組む。また会場は未定だが市役所の会議室等の借用を希望している。

また、警察犬の生活を知り、実際に訓練を体験してもらうことによって、飼い主の犬の見方、接し方が変わってくる。そして飼い主が変わることで、犬たちも変わってくることを実感してもらう。

## 6. スケジュール

### 第1回講習会 7月

「警察犬と考えよう！犬のトラブル解決法」

対象 一般

- ・犬を飼っている人が困っていること
- ・犬を飼っていない人が困っていること

### 第2回講習会 11月

「警察犬と考えよう！いざというときあなたの犬を守る方法」

対象 犬の飼い主、これから犬を飼いたいと思っている人

- ・災害時、家族の緊急時、犬の急病、旅行時
- ・飼い主が事前に準備出来ること。
- ・もしもの時にどうしても必要なしつけ
- ・警察犬の訓練から学べること

### 第3回講習会 24年1月

「警察犬と考えよう！あなたと犬のハッピーライフ」

対象 犬の飼い主、これから犬を飼いたいと思っている人

- ・あなたが変われば、犬も変わる
- ・犬のいる生活を楽しもう！
- ・あなたとあなたの犬も社会貢献が出来る？

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

- 実施体制一犬の会会員 14名
- 主要スタッフの経歴
  - ・ 平成23年度嘱託警察犬訓練士（アマチュア） 9名
  - "    嘱託警察犬 11頭（23年度静岡県嘱託警察犬58頭）
  - ・ 愛玩動物飼養管理士 10名（1級—3名、2級—7名）
  - ・ (社)日本警察犬協会主催嘱託警察犬競技会日本一獲得者 1名
  - "    嘱託警察犬競技会上位入賞者 3名
  - "    訓練競技会チャンピオン獲得者 10名
  - "    訓練競技会上位入賞者 全員
  - "    訓練試験合格者 全員

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

もともとは、飼い犬に噛まれたり、引っ張られて転んだり、犬が全くいうことをきかなかつたりと困って助けを求めて集まったのが始まりでした。その後、躰をしながら問題行動を解決し、訓練を学びました。それが現在は、上記在籍者のいる会へと成長しました。

会員は、主婦、公務員、自営業など、年齢も40代～60代と幅広い人たちの集まりです。

発足以来、約20年になりますが今までに

- 市民に役立つ活動として
  - ・ 「中部電力咬傷防止講習会」平成6年～平成8年迄 延べ20回、検針員、集金人850人に講習を行いました。
  - ・ 「困った犬の飼い方、しつけ方」—平成10年～15年 静岡市産女動物愛護館で8回 実際に困っている犬（吠える、噛む、暴れる犬）を市の広報や新聞で募集し、家族の方々に犬との正しい付き合い方、誉め方、叱り方を指導、万一に備えて保険を掛け、整形外科医師にも待機していただき、万全の体制で臨みました。どの回も無事故で終了しました。
  - ・ 「子犬のしつけ方教室」—（社）静岡県動物保護協会の依頼を受け、静岡市産女動物愛護館で平成18年度より、講義1回、実技2回の講習会を年2度行っています。今年は秋に行います。
- 小学校での総合学習、命の学習などに講師として参加しています。
- 市民生活を守る活動
 

警察から要請があれば、昼夜を問わず速やかに出動し、捜査、行方不明者の捜索に協力しています。小学校、中学校での防犯パトロールなども行い防犯意識高揚に務めています。

全員が、私達で役に立てることを念頭に活動しています。

## 協働パイロット事業 (H23) 見積書

団体名: 犬の会

企画のタイトル: 警察犬と考えよう! 犬のトラブル解決法

項目	金額	説明
講習会会場費	10,000	講習会 3回開催
資料印刷費	12,000	プリンターインク代、コピー代ほか
モデル犬貸出費	100,000	5,000円×(延)20頭
講習会ベスト代	27,000	@2,700×10名
スタッフ交通費	15,000	@500×(延)30名
講習会損害保険料	15,000	3会場分 消費税非課税
ビデオ制作費	18,000	
写真代	2,500	
通信費	5,000	切手、はがきほか
消耗品	15,000	選別用さらしほか
事務管理費	15,000	
会議費	3,500	
小計 A	238,000	
消費税 B = A × 0.05	11,150	
合計 A + B	249,150	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途

## 企画提案の概要書

提案団体名	犬の会
企画案のタイトル	警察犬と考えよう！ 犬のトラブル解決法
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内でご記入ください。)	<p>人の心を癒し慰める存在であるペットとしての犬は、近年その飼育頭数が増加し続けています。そのような中、ペットとして飼育される犬に関する苦情（鳴き声、咬傷、糞尿の始末、宅配業者への威嚇など）が多数発生し問題化しています。また、近い将来発生が予想されている東海地震では、発生後の避難所でのペット飼育の問題なども懸念されています。</p> <p>もともとは自分の飼い犬のしつけに困って訓練を始めた私たちが、今では警察犬を育成できるまでになりました。その技術・経験を生かして、訓練体験を交えた講習会を3回開催します。</p> <p>その講習会を通じて、受講者の方たちに、飼い犬のことで迷惑をしている市民がいることを知っていただき、飼い主にできる解決策等を考えていくとともに、緊急時や災害時に困ることのない犬にする必要性も理解していただくことで、こうした社会的課題の解決を目指します。</p>
金額	249,150 円

## 《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。